

令和2年度 非核都市宣言平和事業実行委員会  
第3回議事録（要旨）

日 時：7月30日（木）午後6時15分～8時10分

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 12名

（中里委員長、小餅副委員長、牛田委員、大上委員、北山委員、柴田委員、島津委員、田村委員、寺尾委員、中島委員、中田委員、元田委員）  
事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業について【資料1】

・事務局より、夏季平和事業の予定について説明。

【委員】新型コロナウイルス感染症に対する市の方針は出ているか。

【事務局】武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部において方針が示されている。事業の実施については慎重になっており、多くのイベント等が中止になっている。この会議については、換気等の対策をしながら実施していく。

（2）平和の日イベント実施案について【資料2-1、資料2-2】

・事務局より、平和の日イベント実施案について説明。

【委員】入場者数を制限することで、会場に入れなくなる人もいると思う。ライブ配信でカバーできればと思う。

【委員】YouTubeチャンネルの動画を見る場合はお金がかかるのか。

【事務局】無料で見ることができる。

【委員】イベント規模がどうなるかわからない。最小限の人数で実施することを前提に、オンライン配信も考えた方が良い。

【委員】映画上映会の場合は、著作権があるかと思うが、オンライン配信は可能なのか。

【事務局】ご指摘の通り、権利関係上、オンライン配信は困難と考える。映画上映部分は配信せず、市長メッセージやその他の演目を配信するという方法もある。また、講演会を行うのであれば、講師と調整して期間限定で配信することも可能と考える。

【委員】11月下旬に新型コロナウイルスの感染状況がどうなっているかわからないので、第1案から第3案まで考える必要があるのではないかと。

【委員】準備があるので早く決めざるを得ないところはあると思う。人が集まることは避けた方が良い。参加者数をコントロールできる講演会等のみの開催が良いのではないかと。戦後75年ということで平和の集いを実施するのであれば、関係者のみで行うのはいかがかと。

【事務局】被爆アオギリ2世の植樹というご意見もいただいたので、検討したい。

【委員】平和の日イベントで何かがあったらと思うと、開催して良いのかと思う。

【委員】戦後 75 年ということもあり、可能であれば講演会は実施した方が良い。新型コロナウイルスはまだわからないことが多いので、入場者数を制限するか、無観客で開催することも検討する必要がある。兵士の病死や餓死を扱った本を書いた吉田裕さんが、市民と戦争の関係を考えるうえで良いのではないかと。

【事務局】吉田裕さんに依頼し、無観客の場合にはオンライン配信ということで良いか。

【委員】オンライン配信は予約した人のみの公開か。

【事務局】多くの方に見ていただけるようにしたい。期間限定での公開にはなるかと思う。講師との調整が必要。

【委員】リアルタイムでの配信か、録画か。

【事務局】どちらにも対応できるようにしたい。

【委員】吉田裕先生をお招きしたい。

【委員】観客は入れるか。

【委員】定められた条件の中で入場者数を決めるべき。市と協議して判断する必要があるのではないかと。

【事務局】入場者数について、市に一任していただけるのであれば、状況を見ながら決定する。

【委員】オンライン配信の方が若い人も気軽に見ることができるので良いと思う。ただし、チャット機能は無しにする等の荒らし対策が必要。

【事務局】オンライン配信で講演会のほかに実施したいイベント等のご意見はあるか。

【委員】市長メッセージ等もあるので、イベントの内容はシンプルな方が良い。

【委員】武蔵野市の平和事業の要点をまとめて、オンラインで紹介するのも良いのではないかと。

【事務局】オンラインのほか、季刊むさしのでの掲載を提案することも可能と考える。

【委員】オンライン配信なら、会場は柔軟にできるのではないかと。

【事務局】視聴する皆様が見やすく、ご出演いただく方に「出演して良かった」と思ってもらえるようにしたい。

【委員】武蔵野市には戦没者の遺族の記憶を伝えるものがほとんどない。子どもたちに伝えるためにも、遺族の気持ちを遺していきたい。ただ遺族会の碑を建てるだけでは意味がない。

【委員】気持ちを伝えていくことが重要というのは、よくわかる。

【委員】遺族会の碑が完成したら、平和案内説明板をつくった方が良い。

【事務局】11月23日に講演会を開催し、24日に植樹を実施することも考えられる。市長の日程次第だが、柔軟に対応したい。

【副委員長】講演会の講師を吉田裕先生にお願いするという事によろしいか。

→賛同。

【事務局】第2希望も決めていただきたい。

【委員】吉田先生が11月23日のご都合が悪い場合は、日程を調整することはできるか。

【事務局】オンライン配信は可能だが当日のご都合が悪い場合は、事前にご講演を録画して、11月23日に公開することはできる。

【委員】優先順位としては、観客を入れて11月23日に実施することが1番だと思う。もし難しいようなら、様々なやり方があると思うので、講師と相談して決め

てほしい。

【委員】日にちを変えることは可能か。

【事務局】武蔵野市平和の日が11月24日なので、直前の休日である23日に開催したい。

【委員】前回の会議ではキャンセル料の話が出た。今回はオンライン配信も可能なのでキャンセルはないと思うが、その点についても交渉してほしい。

(3) パネル展資料の多言語対応について (案)【資料3】

・事務局より、パネル展資料の多言語対応について説明。

【委員】中国語は簡体字と繁体字の両方に翻訳するのか。

【事務局】まだどちらにするかは決めていないが、どちらか一方になると思う。

【委員】英語、中国語、韓国語が候補として挙げられているが、その後、他の言語にも広げるか。

【事務局】まずは作ってみて、効果を見てから検討したい。

【委員】英語だけで良いのではないか。

【委員】日本語が流暢な方でも、より理解を深めるために様々な言語での解説があると良い。市内の外国人人口を考慮すると、中国語と韓国語もあった方が良い。

【委員】英語に翻訳するのであれば、中国語と韓国語にも翻訳した方が良い。

【委員】市報は10言語対応している。電車でも流れるので、3言語は最低限必要だと思う。費用は英語のみの場合とどの程度異なるのか。

【事務局】英語は翻訳する業者が多いが、中国語と韓国語は英語よりも少ないので、高額になる傾向がある。

【委員】予算的に3言語は可能なのか。

【事務局】他の事業に影響が出ないか、予算をまとめてお示しする。まずは英語のみ作り、その後中国語と韓国語に広げることも考える。

【委員】市内の外国人人口を見て決めた方が良い。

【事務局】多文化共生・交流課に確認する。まず英語は11月に間に合うように作成したい。

【委員】市の歴史がわかるようにしてほしい。

(4) その他

・委員より、戦争資料の収集について提案。

【委員】武蔵野ふるさと歴史館は市民が持っている資料等の収集が少ないように思う。資料の散逸を防ぐためにも、映像等に残したり、目録を作ったりした方が良いのではないか。

・委員より、来年度の平和事業について提案。

【委員】佐野史郎さん主演の「おかあさんの被爆ピアノ」が8月8日に公開される。2010年にこの映画の主人公である矢川さんをお招きしたことがある。武蔵野市にも縁があるので、来年度の事業で「おかあさんの被爆ピアノ」の上映会を検討してほしい。

【委員】そのイベントに参加して、被爆ピアノの演奏を聴いた。長崎市長もお見えになっていた。とてもよかった。

・委員より、夏に放送される平和と戦争に関するテレビ番組の紹介。

【委員】10年前より減ってしまったが、ぜひ注目してほしい。

・委員より、戦争体験記録集について提案。

【委員】電車の中でも読めるように、戦争体験記録集をスマートフォンで読みやすくしてほしい。または、持ち運びやすいように文庫本サイズで発行してほしい。ホームページに掲載されているPDFデータは、第Ⅰ集と第Ⅱ集はそれぞれ第一部と第二部で分かれているが、読みにくいので1つにまとまっている方が良い。また、市報には市政センターと図書館で配布していると書いてあるが、コミュニティセンターにも置いてほしい。

【事務局】市民活動推進課コミュニティ推進係と協議し、コミュニティセンターに置いてもらうことが可能か検討する。

・次回の委員会は、9月1日（火）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

### 3 閉会